



みんなで選ぼう！ とみぐすくし 「豊見城市の鳥」



回答はこちらから！

豊見城市市制施行 20 周年の節目の年に、本市の自然に思いを巡らし郷土愛を育むとともに、本市が未来に羽ばたくシンボルとして「豊見城市の鳥」を制定します。
詳細につきましては、右記の QR コードまたは市ホームページでご確認の上、アンケートにご回答ください。

■対象者

豊見城市に関心のある方どなたでも

■回答方法

候補種から 1 種類を選び、①②いずれかの方法でご回答ください。

①市ホームページまたは QR コードからアクセス

②公共施設に設置した回収箱への投函

※回答は1人1回、1種類までです。

※同一端末からの回答は1回までです。

■アンケート実施期間

11 月 30 日（水）まで

■回収箱設置場所

回答用紙も下記で配布しています。

・市役所1階 市民交流スペース

・漫湖水鳥・湿地センター

・市立中央公民館

・市立中央図書館

【問い合わせ】 企画調整課 ☎850-0364

市の鳥候補種はこちら！



1 イソヒヨドリ (しまくとぅば：イシスーサーなど)

岩場や磯などの環境を好むが、沖縄県はコンクリート住宅が多いことから、市内の市街地にも分布を拡大している。都市鳥ともいわれているため、本市の発展する都市をイメージできる鳥。



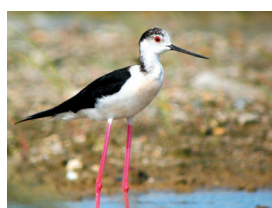
2 カワセミ (しまくとぅば：カーラカンジューなど)

沖縄県全域の水辺で生息し、本市でもほとんどの河川や漫湖、三角池などで観察される。「清流の宝石」とも称され、本市のきれいな水辺・自然豊かなまちをイメージできる鳥。



3 クロツラヘラサギ

ラムサール条約登録湿地の漫湖、三角池、豊崎干潟で越冬する姿が毎年見られ、本市は重要な飛来地となっている。渡り鳥であり希少種でもある本種は、本市のグローバルな交流、湿地や干潟など自然豊かなまちをイメージできる鳥。



4 セイタカシギ

本市の三角池で毎年越冬している。ピンクの細長い脚が鮮やかで、水中で採餌する姿が美しく、「水辺のバレリーナ」の愛称で親しまれており、本市の干潟における豊かな水辺環境をイメージできる鳥。



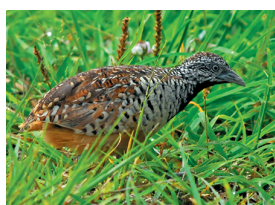
5 ツミ

本市では、海軍壕公園などの小高い森林公園や市街地・宅地の街路樹に生息している。豊見城城址や平良グスクなどの緑地帯の保全と歴史文化資源の活用のバランスがとれた、本市の花と緑の多いまちをイメージできる鳥。



6 ミサゴ

全国で繁殖分布するが、県内には冬鳥として飛来し、ラムサール条約登録湿地の漫湖や海岸域でよく見られる。停空飛翔を行い水中にダイブして魚を捕らえるため、本市の水辺の自然環境を守ることをイメージできる鳥。



7 ミフウズラ (しまくとぅば：ウジラーなど)

国内では奄美、琉球諸島にのみ生息する希少種であり、本市のサトウキビ畑などの農地や草地に生息している。本市の自然や農業をイメージできる鳥。



8 メジロ (しまくとぅば：ソーミナーなど)

全国に広く分布し、本市でも市内全域に生息し、街路樹や公園の林、宅地の庭木などでも営巣する。本市の自然と都市が調和したまちをイメージできる鳥。